

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	相模原中等教育学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科 後期課程（単位制）
-----	-----------	------------------	---------------------

### 1 学校のミッション

6年間の一貫した教育課程や学習環境の中で、多彩で豊かな教育内容の展開を通じて、個性や創造性の伸長を図るよう、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。

これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備え、よりよい社会の構築に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成するとともに、学年の枠を超えた活動などを通じて、思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力あふれる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた次世代を担うリーダーを育成する。

教育目標である「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」の達成に向けた取組を推進する。

教科・科目の学習を通して身に付けた知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見出し、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組むとともに、自然を探究する学習を通して、科学的・論理的思考力の育成に取り組む。

### 2 学校教育目標

人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する。

### 3 計画策定時点での課題

○中等教育学校における教育課程の基準の特例等を活かして、学習指導要領に基づいた神奈川らしい中高一貫教育校の特色を活かした魅力ある教育課程を完成させる必要がある。

○6年間一貫教育の特色を活かした探究活動を検証し、「かながわ次世代教養」のあり方を確立するとともに、探究活動を中心としたカリキュラム・マネジメントを推進することが課題である。

○生徒の高い進路希望の実現に向け、10年間の結果を踏まえて同等それ以上の結果を求められている。特に本校の特色ある教育課程に基づいて、国公立大学進学希望を中心に高い進路意識の向上を図るとともに、生徒の主体的な学びの充実と「深い学び」の実現が求められている。また、それに応えられる授業力を高めるための組織的な授業改善の取組が課題である。

○6年間を安全かつ安心して過ごせるよう、安全教育を通じての支援・指導を充実させる必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高一貫教育の特色を活かした教育課程を策定し、知的好奇心を引き出し、高い学力と志を身に付けさせる。</li> <li>・探究学習を中心にカリキュラム・マネジメントを展開し、「自ら考え・調べる」姿勢を育成する。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びを重点研究し、言語活動の充実を図りながら科学的根拠に基づく論理的思考力、及びSTEAM教育等を通して表現力を育成する。</li> <li>・グローバル社会に求められる英語運用能力向上を目指すとともに、様々な価値観を持つ人々との相互理解を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考力・判断力・表現力の育成」および「指導と評価の一体化」を共通テーマとして研究を実践する。</li> <li>・前期課程の「かながわ次世代教養」を後期課程での探究学習につなげ、体系的な探究学習を推進する。</li> <li>・深い学びの手立てとして、組織的授業改善を実践する。</li> <li>・英検受験、合格率とGTECスコア、および共通テスト平均点を過去のデータと検証し、現状分析と目標を再設定する。</li> <li>・特別土曜講座において、他校生の参加を呼びかけたり、生徒からの提案や意見も吸い上げたりする。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主自律を推奨し、目標達成を諦めない精神力と規範意識、思いやりをもって下級生を指導するリーダー意識を醸成する。</li> <li>・6年間を安全かつ安心して過ごせるよう、安全教育を通じて支援・指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活、生徒会活動、行事、部活動において、上級生はリトルチューターとして行動指針を提示し、下級生に学習支援を含めた指導を実践する。</li> <li>・「挨拶」「時間を守る」「整理整頓」の3つの柱において、生徒による自主的取組を促す。</li> <li>・教科横断の視点で年次計画を作成し、振り返りアンケートを実施する。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一志望を諦めない進路指導を徹底するとともに、5教科受験での国公立大を推奨し、60名以上の現役合格者を目指す。また、国公立大や難関大における現役合格率75%を目指した段階的・体系的な支援・指導を行う。</li> <li>・キャリアパスポートを活用しながら、高い志を維持させるため、実践・経験値を向上させ、自己変容のプロセスを重視したキャリアプランニングを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大のより迅速な受験結果の集約に向けDXを活用する。また、進路実績の分析と指導体制を検証する。</li> <li>・キャリアパスポートと連動し、「基礎期・充実期・発展期」各期末に活動履歴を振り返り、将来像を具現化する。</li> <li>・検定やコンテスト参加数調査を継続して行う。参加経験のある生徒による募集説明会を実施する。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流から社会貢献意識を醸成する。</li> <li>・神奈川県を代表する中高一貫校としての魅力を発信し、6年の学びの意欲を引き出す広報、開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小・中学校、大学、企業、NPO法人、他外部機関と協働し、教育活動の一層の充実を図る。</li> <li>・南区役所地域振興課と連携した防災訓練を計画、実施する。</li> <li>・生徒のアイデアを活かした学校案内を作成し、説明会を企画する。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を組織的に可視化させ、効率向上から働き方改革を推進するとともに、OJTを意識しながら職員相互の能力向上を図る。</li> <li>・地域から信頼されるため、職員一人ひとりが県職員としての自覚を持ち、不祥事防止に全力で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間及び月間業務計画を立て、試験前に会議を設定しないとともに、採点システムの運用および「スクラップ提案書」を継続して実施する。</li> <li>・教員による不祥事防止研修を継続する。コミュニケーションの取りやすい職場づくりを重点目標とする。</li> </ul>